

# 顔と友情

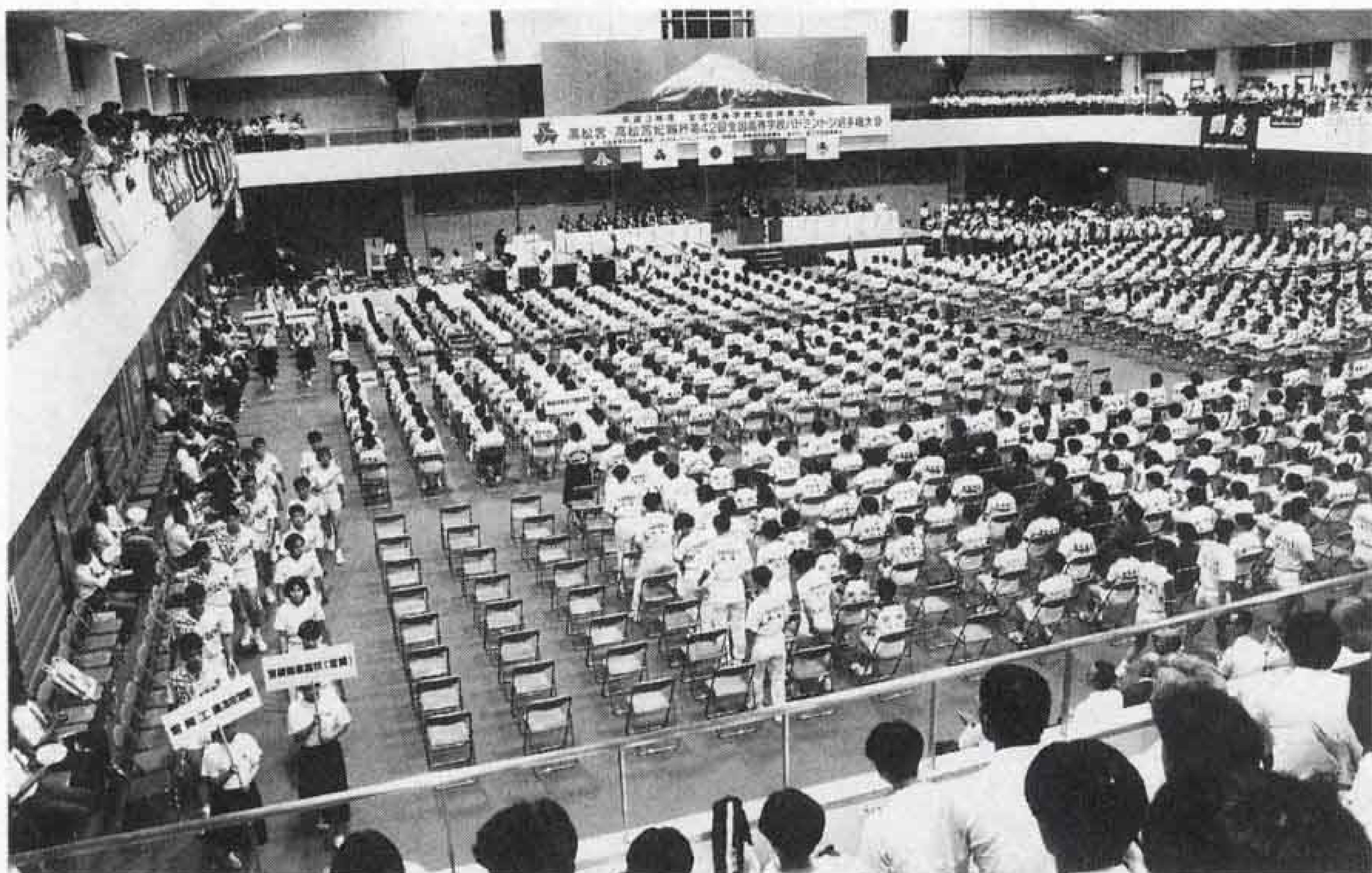
## 総体バドミントン選手権大会



汗

全国百九十五校の選手・監督など、約千三百人が参加した高校総体バドミントン選手権大会。市内からも富士見高校など三校が出場し、四十度を超す体育館のコートで、熱戦を繰り広げました。大会は八月六日の男女シングルス決勝で幕を閉じましたが、選手たちの流した汗と涙、そして笑顔と友情が私たちの胸に思い出として残ります。

来年の開催地は宮崎県。一・二年生たちは、もう来年の夏に向けて、ファイトを燃やしています。



△8月1日の開会式でプラカードを先頭に選手たちが意気揚々と入場



△7月30日、飛行機とバスで10時間。宿舎に着いた沖縄県南風原高校の皆さん。少し肌寒く感じたそうです



△「試合のスタミナバッチャリ」と、もりもりパクパクの北海道勢。おかげで？札幌第一高校は、男子ダブルス準優勝



高校の石原(右)



△個人ダブルス、富士高校の鈴森(左)  
上塩組



△女子学校対抗で富士見高校は1回戦突破  
(右・大塚、左・広瀬)



涙

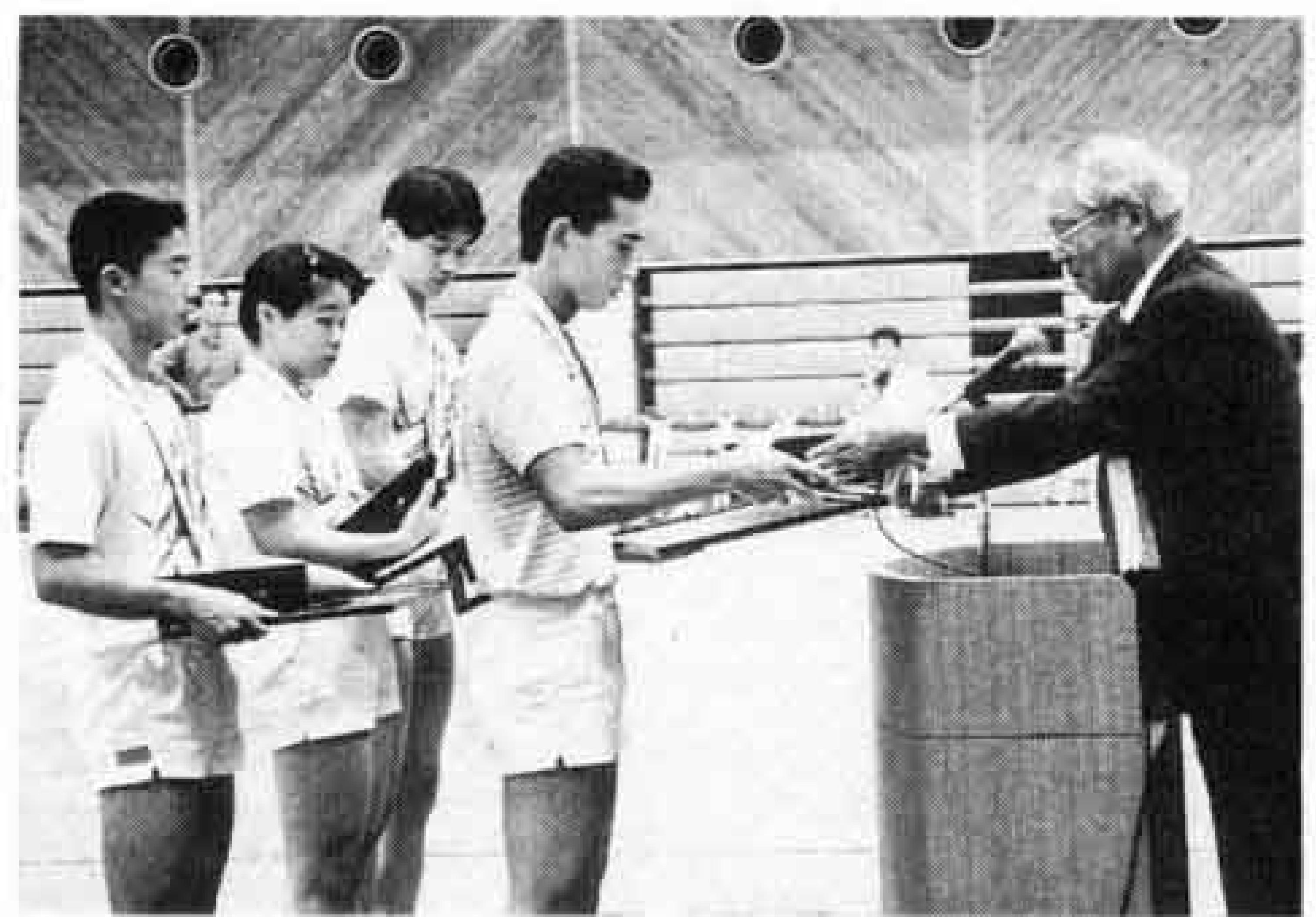


友情

△八月三日、女子学校対抗は、熊本中央女子高校が優勝。高松宮妃杯を手にしました。



8月2日 会場  
日皇太子殿下もバドミントン



△8月6日、優勝者には富士市長杯も贈られました



△8月6日、個人男子ダブルス優勝は千葉敬愛高校の太田、石橋組



△個人ダブルス、吉原工業高校の後藤(右)、望月組



△個人シングルスで富士見高校の石原は、△個人ダブルス、富士見秋山組  
1回戦突破

地元の選手